

勝山地区（西校下）座談会 議事要旨

○と き:平成 22 年 7 月 27 日(火) 19:00～21:15

○と こ ろ:勝山市教育会館

○テ ー マ:第5次勝山市総合計画

○出 席 者:28名

◎第 5 次勝山市総合計画について説明(未来創造課)

◎都市計画マスタープランについて説明(都市政策課)

Q1	<p>・学校再編に伴い教職員の数はどうなっていくのか？試算が出ているのか。もし減るのであれば、教育系の大学を出た人の就職先が少なくなり、勝山に残って先生としてやっていこうという意欲のある学生の数が減ってしまうのではないかと？</p>
Q2	<p>・体育施設のあり方検討委員会の検討結果はどのような内容で報告が出されたのか？その内容を見る方法を教えてほしい。また、新体育館建設について6,000人の要望があったと新聞報道にも出ていたが、どのようにして見ればよいのか？また内容についてはどのようなものなのか？</p>
A1	<p>・教職員の数については、きちっと精査した数は出し得ない。というのは、小学校については地域のみなさんのいろんなご意見を聞きながら、時間をかけて話し合い、いろんなかたちの再編もあるであろうと考えているので、先生の配置についても今の段階できちっとした数は出せない。先生の配置は国の配置基準でクラス数によって決まる。クラス数は児童生徒数によって決まる。県では独自の配置基準を加味している。さらに、国のほうでは少人数学級、クラスの子どもの数を減らして教員を配置するという方針も出ており先行き不透明な部分もある。ただ、増えることは無い。再編することで、先生の数はそれなりに減る。市の考えとしては、できるだけ濃密で目の行き届く授業をしたいと考えているので、実際の再編にあたっては、より充実した先生方の配置、または管理職についても新しい形を考えていきたい。</p>
A2	<p>・体育館について、昨年8月に、勝山市における体育施設のあり方検討委員会が立ち上がった。その中では新体育館のことだけではなく既存の体育施設も含めて今後のあり方を検討した。2月15日に検討委員会から市長に対して中間報告が出ている。その中で、新体育館については、勝山市民のスポーツ振興と活性化、選手の強化育成、福井国体におけるバドミントン競技の誘致が必要などということが報告としてあった。また、要望書の件については、体育協会で署名活動を行ったもので、約6,000人の要望ということで市長に提出された。</p> <p>検討委員会の中間報告、要望書、両方ともホームページ等にはアップしていないため見ることはできないが、検討委員会中間報告の内容については、担当のほうで開示させていただく。</p>
Q3	<p>・長尾山総合公園第2期事業について、今後整備する土地は市有地なのか？</p> <p>また、小中学校の統廃合について、保護者や先生方の統廃合に対する意見はどのようなものだったのか。</p>
Q4	<p>・元々、長尾山総合公園の中にグラウンドを造るという話があったと思うが、この話は消えてしまったのか？グラウンドはもう造らないということなのか、それとも南部中学校の跡地にグラウンドも整備していくのか？</p>

	<p>勝山には道の駅が無く、地場産のものを販売するところが無い。道の駅に関しては、おそらく行政が直接関与するものではないと思うが、少しバックアップはできないのか？</p> <p>今年、大学のクラブ誘致によって困るのは、お盆の時期にホテルが空いていない。帰省してくる家族が泊まる場所が無い。ニューホテルを5月の時点で予約したが空いていない。ニューホテルに対して市として助言ができるのであれば改善できないか。</p>
A3・4	<p>・長尾山総合公園は、平成9年に都市計画決定され、平成10年に恐竜エキスポふくいが開幕されている。第2期事業については、これまで財政面も含めて諸々の理由から工事は中断していた。今回、新たな展開の方向性としては第2期工事については、当初計画を見直し、今後は総合運動公園の整備を行わず、最も有効な形として里山の自然を活かした形にしていくという方向性である。第2期工事のエリアについては市有地ではない。今後、公園整備にあたっては、一つひとつ手続きを重ねていくことが大切だと考えている。</p>
A3	<p>・この素案は、そもそも勝山市における望ましい小中学校のあり方検討委員会において平成16～18年度の3カ年かけてさまざまな角度から検討していただいた結果を踏まえ、市民アンケートの結果も反映させた形で今回お示ししている。検討委員会の委員には、小中学校の校長代表、PTA関係もメンバーとして入っている。しかしながら、いずれにしても現段階におけるものは素案である。これからさらに地区別座談会と並行して小中の校区ごとにPTAの皆さん等いろいろな話をさせていただく。また、学校の先生においては、全校長に再編についてのお話をさせていただいた上で、校長を通じて各学校の先生方にもお示ししている。8月早々には、先生方を対象にした会合の中でいろいろな意見をお聞きしたいと考えている。</p>
A4	<p>・道の駅については、これまでも市議会や市民のみなさんからご意見があった。国が補助して設置するケース、または行政がある程度サポートしてやる気のある人たちが一定の土地を借りてするケースなどさまざまなパターンがあり、市も研究をしている。誰がどういった仕組みで行うかがポイントだと思っている。恐竜博物館やスキージャムなどの観光客に市内でしっかりとお金を落とさせていただこう、ということが課題となっており、ゆめおーれ勝山もそのような役割、機能を担う施設の一つだが、さらにこれの発展形ができないかということで、商工関係からは越前大仏の門前町を使えないかというご提案もいただいている。いろいろなご提案があるが、野菜類などのいろいろなお土産物類を売っていただく場として、モデルケースとしてやっていけないかとも考えている。さらにはそれをコーディネートする人が必要であると考えている。勝山市は3人に1人が60歳以上ということで、このようなまだまだ元気な高齢者をしっかり活用し、いろいろな農産物やまちの特産品などを提供できる仕組みができないかと考えている。まずは、これらコーディネートする人材を市としてサポートできないか、またいろんな施設の借り上げについても市として何らかの支援ができないかなど検討しているところである。</p> <p>つぎに、勝山ニューホテルの件については、現在、ある会社が市の指定管理者ということで運営しているが、確かに、春先から企業の研修、さらに土日などは宿泊の予約を多く頂いている。特に、今年の7月末からは学生合宿が集中しており、延べで4,700人あまりの大学生がゼミや合宿などさまざまな形で来ている。しかし、宿泊はそのような状態だが、肝心の部の練習となると、勝山市には体育施設が少ないということで、大</p>

	<p>野市のエキサイトや永平寺町の施設をお借りしている状態。宿泊は、勝山ニューホテルだけでなく市内の民宿にも広がりを見せつつあり、そういった意味においても勝山市内の体育施設をもう少し充実できないかという考えを持っている。</p> <p>お盆の予約状況については、8月14日、15日に関していえば、学生合宿については部屋数の3分の1程度の予約状況だと思うが、学生合宿だけでなく、ホテル機能の充実により繁忙期は混雑しているのが現状。</p> <p>市内には勝山ニューホテル以外にもがんばっている旅館があるので、市民の皆さんも幅広くご利用いただきたい。</p>
Q5	<p>・先ほどの説明の中の、市民アンケートの集計結果のところ、70%の人が勝山のことを「きれい」と言っている、第4次総合計画策定におけるアンケートでも「きれい」と回答した人が多かったと言っていたが、第4次総合計画の時には90%程度が「きれい」と答えていたのか？そして、第4次総合計画の時には、そのことに関してどのような位置付けをして現在に至っているのか説明されたい。</p> <p>もう1点は、コミュニティセンターの構想について、大変立派な構想だが、まちなかについての説明がなかった。まちなかにも同等のことをするのか。</p>
Q6	<p>・私は、福井社会保険病院に通院している。</p> <p>市では病院存続に向けて積極的に取り組んでいくというスタンスのようだが、政治と行政、そして市民の要望、考えが一枚岩になっているのか疑問を感じる。この取り組み状況について説明されたい。</p>
Q7	<p>・「災害に強いまちづくり」というが、いまの農林業政策を見ると災害に弱い森林づくりをしているように感じる。山を持っている者が、スギとかではなく一般広葉樹を植えて災害に強い森づくりをやっていこうとすると、1～2町歩の面積になるとすぐに百万単位のお金がかかってしまう。そこで国の補助を使うとなると、杉などすぐ成長する材木に流れて行ってしまい、どうも災害に弱い森づくりを進めていってしまっているような気がする。エコ環境の推進というのなら、災害に強い森づくりを進める方向性が今後必要ではないか。</p> <p>勝山は観光の観点から言うと、面ではなく点で捉える交通体系になっている。中部縦貫自動車道からいっぺんに恐竜博物館などに行ってしまう、その方々がそのまま県外の山中、山代に流れやすくなってしまっている。観光政策を推進するのであれば、交通体系、交通の流れを勝山駅周辺へもっていくことで、勝山のまちなかに観光客を誘導することが大切だと思う。近隣の市民にとっては迷惑な部分も出てくるかも知れないが、そういうことを考えていくことも必要だと思う。</p>
A5	<p>・基礎的コミュニティに関するいまの段階での基本的な考え方としては、今回の総合計画の中では、旧来の1町9か村の枠組みは尊重していきたいと考えている。そのような中で、8か村の小学校がそれぞれ再編していった後の遊休施設となった校舎、体育館等を地域のコミュニティセンターとして活用したいという提案である。この中において、勝山地区では成器西小学校、成器南小学校とも再編の対象とはしていない。まちの有り様、公民館の有り様が、他の地区とは違っている。特に町内ごとの活動が非常に活発で、1つの区、町内が村部と比べると大きく、自主的な活動も進んでいる。したがって、基本的な考え方として勝山地区においては町としての一体感の中でどのような政策をしていくかを考えている。もちろん災害時の避難場所、備蓄基地についてはし</p>

	<p>っかりと考えていく。</p> <p>市民アンケートの中での「好き」、「きれい」については、7割の方が勝山のことを「きれい」と言っているのではなく、「きれいなところもある」または「きれい」と言った人の中の約70%の人がその理由として「雪の問題」を掲げていたということである。また、第4次総合計画における市民アンケートにおいてもこの雪の問題は大きい課題として上がっていた。したがって、今進めている第4次計画の中でも除雪機械の充実、屋根融雪への補助、狭い道路におけるいろんな除雪の体制、さらには流雪溝の整備など雪に強いまちづくりを進めてきた。</p> <p>今後10年間についてもさらなる高齢化社会を迎える中で雪に強いまちづくりを進め、勝山のことを「きれいなところもある」または「きれい」と答えている人がその理由としてあげている雪の問題についてしっかりと対応していきたい。</p>
A6	<p>・福井社会保険病院の存続については、9月末までに早く病院の受け皿を国のほうで可決をしてもらわなければならないという状況であるが、この点については、本日の市議会臨時議会の中で福井社会保険病院が奥越の中核医療施設として存続できるように国に働きかけていくという意見書が出され、全会一致で採択された。今後は党派を問わず全議員が働きかけていくということである。</p> <p>また、勝山市もこれまで機会を捕らえて、国や県に働きかけをしており、さらに病院でも国会議員に働きかけを行っているところである。今後、いい形で9月末までに国会で存続の法案が通れば、市民病院、奥越の中核医療施設を市、市民をあげて応援していきたいと考えている。</p>
A7	<p>・確かに、いまの政策の中心はスギの植林となっている。</p> <p>災害に強いまちづくりを進めるための林業施策としては、保安林指定により土砂災害の可能性のある山については、伐採の規制など災害を無くす施策に取り組んでいる。</p> <p>・観光については、まずは、交通結節点を大切にしたい。その拠点としては、ゆめおーれ勝山等それぞれのところに拠点整備をしていく。その最たるものが今後整備する勝山駅前広場である。大正3年以来、駅前広場というものがあったが、今回、ロータリー、バス停留所、鉄道ミュージアム、休憩施設も備えた勝山市の玄関口ができる。それによって鉄道とバスの交通結節点ができる。外来者の利便性向上および魅力あるまちの玄関口とともに、もう一つは勝山市民の暮らしやすさという点をストーリーとして反映させたい。</p>
Q8	<p>・勝山市が「好き」という理由に「まち並みや自然の美しさ」というのがある。そこで、ジオパークについて、いまジオパークツアーも始まっている。ジオパークは、単に「壁や石が転がっているだけではないか」というのではなく、恐竜博物館が人気を博しているが、それに準じて言えばジオパークも同じ地学分野ということで、これから自然を残していくという意味で、別の面から有利な条件であると思う。</p> <p>ジオパークの今後の行く末、流れ、見通しについて聞きたい。</p>
Q9	<p>・小中学校統廃合のアンケートについて、実際に小中学校に関与していない年配の人や若い人たちにとっては、いま小中学校に何の問題があるのかが分からないので</p>

	<p>はないか。その人たちに小中学校の再編をどうするべきかと言っても現実的な回答からは遠くなってしまうと思う。去年小学校を卒業した子も入れて前後を含めた保護者、現在の中学生の保護者がどのような意見を持っているかが知りたいので、そのあたりの回答者の数字があれば教えてほしい。</p>
Q10	<p>・10年後をメドに小学校3校、中学校1校の素案ということだが、話がズレるかも知れないが、県立高校について、今現在2校ある県立高校が今後1校になると決定しているが、あとの1校も10年、15年後には無くなってしまいうということもあり得るのか。</p> <p>親としては、自分の子どもにはなるべくなら地元の高校を卒業させてやりたいという思いがある。</p>
A8	<p>・ジオパークは、「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」として、昨年の秋に日本ジオパークに正式に認定され、今現在日本国内で正式にジオパークとして名乗れるのは11箇所ということで、洞爺湖有珠、フォッサマグナの糸魚川、雲仙普賢岳の島原、阿蘇など有名なところばかりであるが、その11箇所の中に入っているということで、勝山市として誇れる材料が1つできたというふうに考えている。内容は、恐竜化石がたくさん産出されるということで恐竜がメインであるが、それだけではなく、法恩寺山、経ヶ岳のほうの昔の火山関係の地質、地形遺産であるとか、まちなかでも見られる河岸段丘の崖である七里壁、大清水など河岸段丘面から出る湧き水も身近な地質遺産として位置づけている。</p> <p>恐竜博物館は年間40万人以上の来場者があるが、県の施設であるのでいまひとつ勝山市民が恩恵をあまり受けていないという思いもあろうかと思う。その辺については、建物の外へ出るジオパークという「大地の公園」という形での恐竜ということなので、建物の中ではなく外へ打って出てPRできるという面で勝山市として、勝山市民が主体的に活用していく武器ができたと思っている。ジオパークの基本は、世界遺産のほうはどちらかというと保存・保全に力を入れているが、ジオパークは、保存・保全も大切だが活用も大切ということで、2本立てでやるというのがジオパークの理念。保存・保全の面では北谷の恐竜化石発掘地をこれからもきちっと守っていく、また、そのほかの地質遺産で、市の文化財に指定されるほどのものではないが地質地形的に大切だというものについてはどのように守っていくかということがあるし、活用の面では観光との連携、そして教育面でのフィールド提供、例えば大学の先生方に勝山の地質地形を一つの研究テーマにさせていただき、勝山の地質地形に箔を付けていただいたり、名前を全国に売るということなどを考えている。今年はまだ、ジオパークツアーの開催や「ふくい勝山恐竜水」を配布用として試しに作るなど試行錯誤の段階である。今後とも、市民のみなさんおよび地質地形に造詣の深い人のご意見をじゅうぶんお伺いしながら進めていきたいと考えている。</p>
A9	<p>・今回のアンケートでは何歳の子どもを持っているかという設問は無いので保護者としての集約はできないが年齢別での集約は可能。ただ、あり方検討委員会の検討段階でのアンケートでは、小中学校や幼稚園・保育園の保護者を対象に小中学校の再編について同じような内容で実施している。その時は、小中学校保護者については「積極的に進める」、「児童数の減少によって統廃合はやむを得ない」が合わせて75.9%</p>

	<p>あった。同様に保育園・幼稚園保護者は80.4%であった。</p> <p>今回のアンケート結果は、実際に小中学校の子どもを持つ親の考え方とは若干温度差があるかもしれないので、市では各小中学校校区ごとに児童生徒の保護者ならびに就学前児童を持つ保護者を対象に座談会を開催させていただきたいと考えている。その中で、いろんなご意見を聞かせていただきたい。</p>
A10	<p>・高校の再編については、より合理的に高校運営していくために行われているもので県が実施している。旧坂井郡や嶺南でも今後予定されていると聞く。これは入学定員に対して志願者数がだんだん少なくなってきたという理由。</p> <p>しかしながら、少なくとも勝山高校がいずれ再編の対象になるなどということは県においても考えていない。勝山高校は存続する。</p>
Q11	<p>・将来的に子どもの部活動などを考えれば、小中学校の統廃合は必要だと思う。これは要望であるが、(仮称)中部小学校については、「成器」という名前だけは残してほしい。勝山地区としては切実な思い。</p> <p>新体育館は、大きなものになるようだが、身の丈にあった、財源に合った規模で、体育というよりも「総合センター」という観点で、市民が健康増進のためにいつ行っても子どもからお年寄りまで楽しめる施設にしてほしい。</p>
Q12	<p>・新体育館の維持費、運営についてはどのように考えているのか？一般市民がいつ行っても貸してもらえるのか？クーラーなどもお金がかかると思うがどうか？</p> <p>中部中学校の部活動状況を見ると体育館が狭いのが現状。近くの体育館を借りるなどでやりくりしている。統廃合で子どもの数が増えると体育館のやりくりがますます大変になる。いまの市営体育館の老朽化についてどうするか聞きたい。</p>
A11・12	<p>・小学校の名称については現時点で仮称。「成器」という歴史ある名前は残したいという気持ちはじゅうぶん理解できる。3校になった時にどうするかは、公募ということもあるかもしれないし、今後検討していく課題である。</p> <p>新体育館については、大きさ、機能の面では全国レベルの大会をするにはこのぐらいの規模が必要なのではないかとということであるし、機能面については、机上で計算したのではなく、さまざまな要望や体育館のあり方検討委員会のご意見を踏まえた案である。全国大会もでき、市民の皆さんにも気軽に使ってもらえるようなスペース、会議室等がご用意できればと考えている。維持費については、市の財政もじゅうぶん念頭に入れながら、ランニングコストなども勘案しながら新体育館の姿を詰めていく。</p> <p>既存の体育施設については若干老朽化も進んでいるので、新体育館と周辺体育館との連携について「体育館のあり方検討委員会」の中で検討中である。勝山市全体の体育活動の向上という視点でこれからの施設利用の仕方について今後検討していきたい。具体的にどの施設をスクラップして、どの施設をリニューアルするかについては、今後市議会ともご相談しながら進めていきたいと考えている。</p>

以上